

埼玉県南東部の堆積物の研究 (第1報)

小松原 恵子・佐藤 智子・飯塚 正勝

Sediment in the Southeastern Area of Saitama Prefecture (Part 1)

Keiko Komatsubara · Tomoko Sato · Masakatsu Iizuka

はじめに

埼玉県南東部の第四紀堆積物をボーリングコアを利用して調査した。今回は、草加市の資料を用い主に化石を分離したので、その結果を報告する。今後は調査地域をひろげると共に、堆積物の組成、地層の対比、さらには堆積環境の解明をしていきたい。

実験方法と考察

1. 化石のサンプリング

土壌母材をビーカーに入れ、水道水で塊状のものを溶かし、メッシュ5, 9, 16, 32, 60, 200の夫々の篩に順次かける。母材試料を粒子の大きさによって先ず分離する。

夫々のメッシュにかかった粒子の中からほ

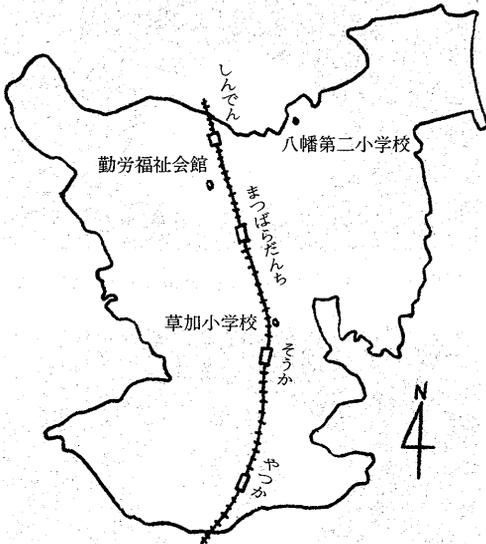


図1 草加市全図

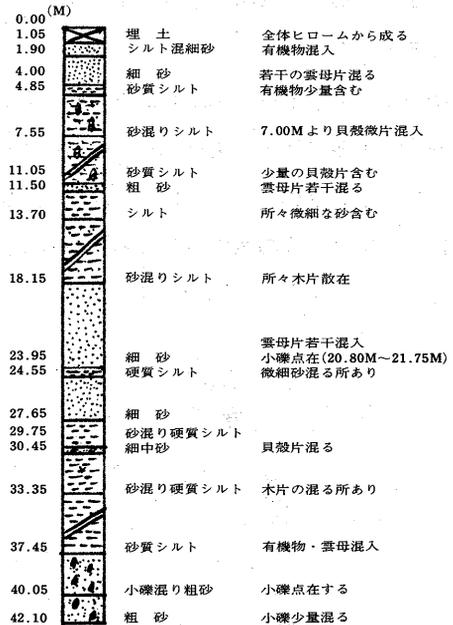


図2 草加市勤労福祉会館柱状図

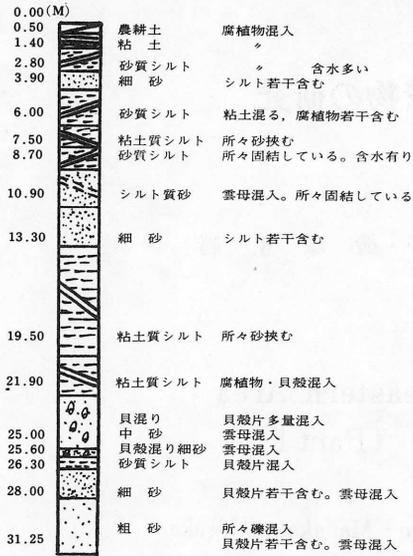


図3 草加市八幡小学校柱状図

ほ完全な型をしている化石をとり出す。殊に200メッシュにかかったものの判別は肉眼では不可能なので、この試料を四塩化炭素で洗い浮き上がったもののみを採取して顕微鏡下で観察し化石を拾う。これをスライドガラス上にバルサムで固定する。

試料としては、草加小学校、草加市勤労福祉会館、草加市立八幡小学校のボーリングコアである。

始めに草加小学校の深度0m~0.80mの試料を作業手順に従って実験した。どの篩上にも化石はなく200メッシュ上にも石英、雲母、角閃石、磁鉄鉱等の微細粒子のみであった。

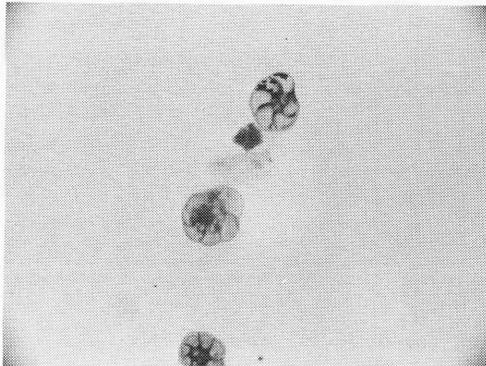


写真1 *Cibicides refulgens* sp. 更新世

又、同地深度12.15m~12.46mにおいても化石はなかった。

次に、草加市勤労福祉会館(図2)深度9.70m~11.50m及び34.50m~35.70mでは極めて化石が多かった。(写真1, 2, 3, 4)

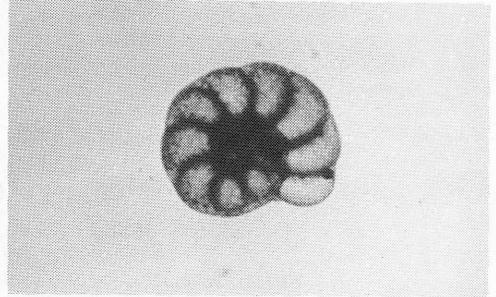


写真2 *Rosalina bradyi* sp. 更新世



写真3 *Pseudonion japonicum* sp. 更新世

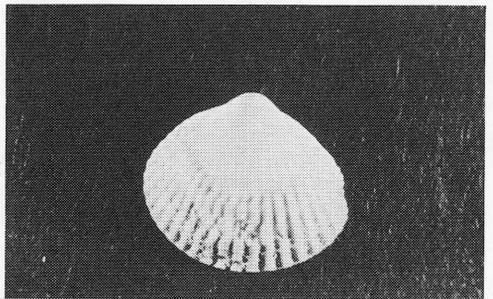


写真4-1 *Laevicardium braunsi* sp. 更新世

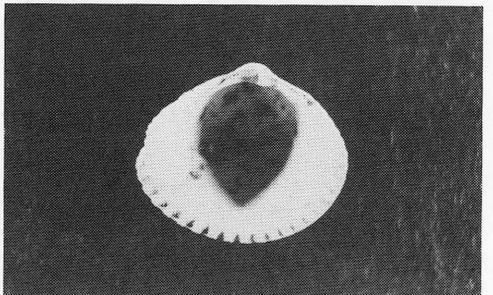


写真4-2

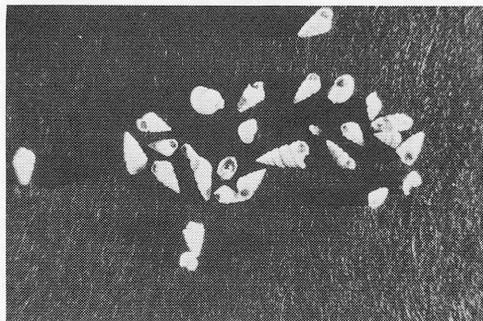


写真5 *Tritia (Reticunassa) japonica* sp. 更新世

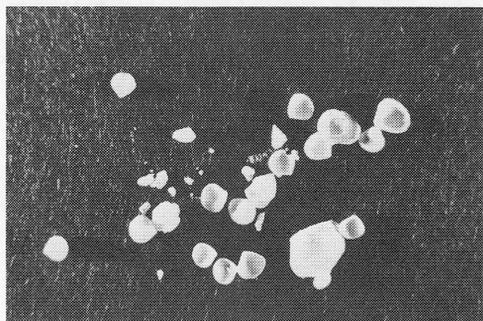


写真6 *Pillucina pisidium* 更新世

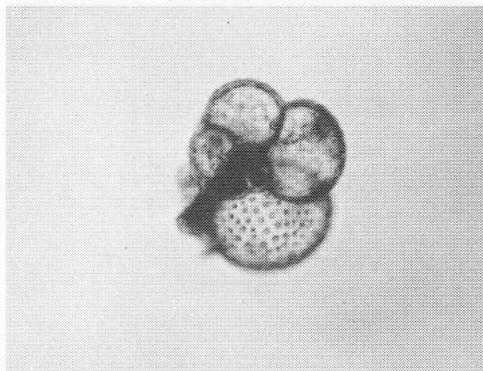


写真7 *Globigerina bulloides* sp. 更新世

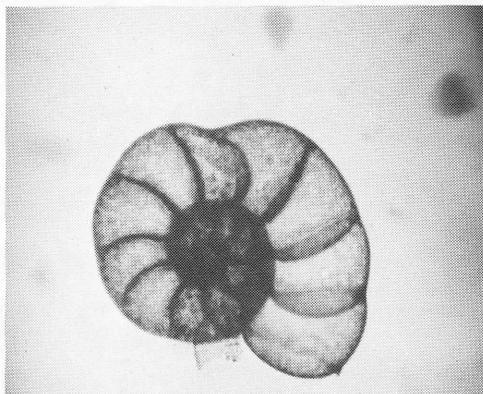


写真8 *Cibicides refulgens* 更新世

草加市立八幡第二小学校(図3)深度11.70m~12.50mでは、巻貝、二枚貝の幼型が多数出た。(写真5, 6)

200メッシュに上のものは写真7である。

同所深度25.00m~25.60mは、貝殻片は多数あったが完全な型のものはない。200メッシュ上のもにも白色不透明の粒子が多か

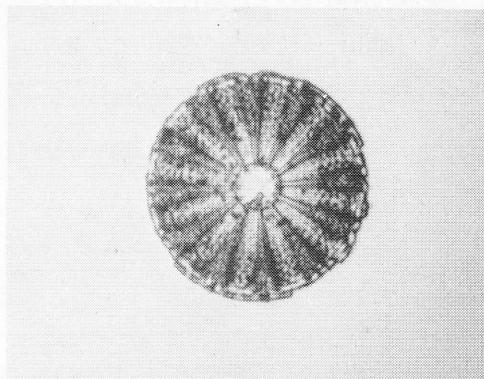


写真9 *Actinaptychus splendens* 更新世

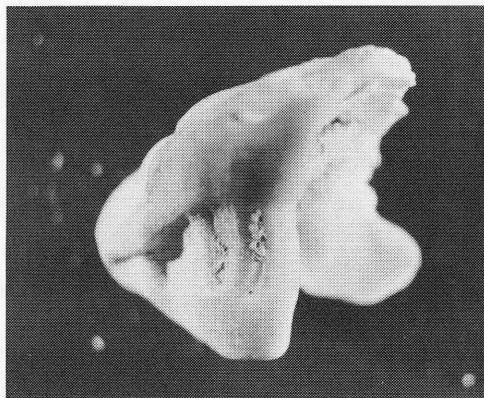


写真10 かき

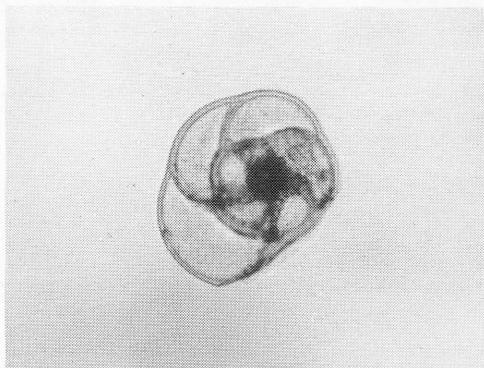


写真11 *Cibicides refulgens* sp. 更新世

った。有孔虫は、写真11を見出した。

同所深度28.00m～31.25mでは写真10があり、完全型ではないがかきと思われる。又、軽石状の礫が各メッシュに残った。200メッシュ上では写真9の珪藻が多数出た。有孔虫写真11のものがあつた。

本研究にあつて、試料の提供をして下さつた草加市役所建築課に感謝いたします。

参 考 文 献

- (1) 日本標準化石図譜，朝倉書店。
- (2) 植物化石図譜，朝倉書店。
- (3) Treatise on Invertebrate Paleontology (1).
- (4) Treatise on Invertebrate Paleontology (2).
- (5) 土壤成分のサンプリング，講談社。
- (6) 日本化石全集，築地書館。